

《株いわくに起業！》

今回の一般質問に於いて「株いわくに起業！」という事で、岩国市の将来像に向けて強力に進めることへの提案を致しました。

《起業力》  
企業経営の場合、トップの指導力・牽引力はまずもって最重要課題だが、それは前提として 人材育成 ブランド開発 特許の育成保護 現場主義 情勢判断と迅速対応 消費者のニーズの掘り起こし 底上げ 等があげられるが、これらを実現すべく体制づくりが急務です。



当時は真に奇抜なアイデアであったにちがいない。

《これからの行政》

今後は「自主自立自助の精神」で地方分権が進み、地方から国を支える時代となるのです。そのために「地方力」を育てることを実践し提案してきました。

お役人天国といわれる時代は終わり、小さな行政組織を目指すことになってきます。そのためには、非生産的仕事を簡略化し、満足度の向上を同時に成立させることが必要になります。

つまり、書類の山と書類の書き方マニュアルを無くすこと。税制の簡略化や各種申請書類の縮減をするのが願われています。

地方力

地方力はまちづくりの合言葉になった。

江戸しぐさの試みを！



よい習慣がくせになるとOK！

《道義社会の実現》

社会に道徳的規範が定着できれば、予算の多くを節約できるのです。

江戸しぐさのように「思いやりは成績より偉かった」、人に慈愛の気持ちで接する事が「粋…かつこよい」社会となると、ややこしい法令も必要なくなるのです。



《賃金をもらって研鑽》

役所は、失業中のものを一定期間雇用するところでもよいのです。また、職員として最低賃金で雇うが、職業訓練や資格の取得、研

究活動を充分に行えるようにします。雇用中の人脈拡大も可能にしたらよいのです。そうすれば、市内で独立起業し、自分の能力を活かし生きがいを持って仕事ができるようになり、そこは、人材育成の場所となるのです。

《地域ブランド育成》

職員のアイデアが活かせるように「提案制度」を充実させると、ブランド開発や特許取得も出来るようになりますし、市民へのアドバースも可能でしょう。



いわくにレンコンブランドです。レンコンハンバーグ、れんこんミートソース

《現場主義を徹底》

市民の要望などに充分対応する「現場主義」で起業の可能性もでてくるでしょう。限界集落に、都会からのタインの若者を職員採

用し駐在員として住まわせ「まちづくり」に励んでいただくのもよいのではないのでしょうか。



現場主義を貫く。パレスチナの現状を視察に出かけた。

《新しい役所のかたち》

役所は永く勤めるところではなく、パートタイマーの就業場でのよいのです。経常収支に大きな割合を占める人件費を少なくし、更にまちに活力が生まれることに繋がり役所は「夢工場」となるのです。

前野 弘明

「地方力」による地方改革を提案してまます。日本の再興にも通じるからです。

